

高橋ふじお 議会だより



vol.6

発行：令和6年4月

市議会議員として4年目に入り、令和6年度がいよいよ動き出しました。人口減少対策や地元経済の活性化等取り組みながら、明るい未来に向かって、誰もが「住みたい、住み続けたい」と思える出雲市を目指し奮闘しているところです。新たな気持ちで皆さまの声をしっかりと聴き、これからも今後の市政に一生懸命取り組んでいきます。

テーマに沿って委員会で視察に行きました！

文教厚生委員会

- 部活動の地域移行について……………千葉県柏市
- 子育て日常生活支援について……………神奈川県厚木市
- 高崎市ヤングケアラーSOS事業について……………群馬県高崎市
- 子育てSOSサービス事業について……………群馬県高崎市



文教厚生委員会視察(千葉県柏市)

観光戦略推進特別委員会

- インバウンド誘客に向けた取り組みとその成果について……………和歌山県田辺市
- 下呂温泉を中心とした市内周遊促進に向けた取り組みについて……………岐阜県下呂市

議会広報誌編集委員会

- 議会広報誌の取り組みについて……………和歌山県かつらぎ町
- 議会広報誌の取り組みについて……………奈良県桜井市

いずれの視察先も先進的な取り組みをしていて、出雲市としても学ばなければならない所ばかりです。行く先々で、市議会や市役所の皆様に詳しいお話を聞かせて頂き、出雲市に少しでも取り入れたい内容がほとんどです。詳しくは市が発行する出雲市議会だよりやHP等に報告されていますので、どうぞご覧になって見て下さい。

最近の主な活動内容



出雲市北部活性化推進協議会



市長要望(川跡駅の整備について)



堀川河口視察



東京都議会視察



市役所(幹部)職員とカローリング大会



高橋ふじおの一般質問

これからの幼児教育と保幼小中連携について (令和5年12月議会)

- 問**
- ア** 全国的に幼稚園が減少し、認定こども園が増加している現状について伺う。
 - イ** 閉園を迫られている幼稚園に対する市の見解を伺う。
 - ウ** 市の保幼小連携と小中連携の現在の取組状況を伺う。
 - エ** 小1プロブレムと中1ギャップの市の現状を伺う。
 - オ** 保幼小中連携の今後の方針を伺う。



※イメージです

- 答**
- ア** 平成27年と令和5年の比較で、全国の幼稚園数は11,674施設が8,837施設に減少し、認定こども園数は2,836施設が9,220施設に増加。核家族化、共働き世帯や就業する祖父母の増加により、保護者が早い年齢から保育所に預け、そのまま保育所への継続入所を選択する。よって幼稚園の施設数や園児数が減少し、幼稚園機能と保育所機能を併せ持つ認定こども園への移行が進んでいる。
 - イ** 出雲市教育政策審議会に今後の市立幼稚園のあり方を諮問し、現在審議中。答申を得た後、市としての方針・計画を定めていく。
 - ウ** 保幼小連携については、「幼児と児童の交流」「教職員同士の連携」「接続期のカリキュラム作成」「年中児からの情報提供」に重点を置いて取り組んでいる。小中連携は、「学力向上を支える生活習慣づくり」「いじめ・不登校の未然防止及び特別支援教育の充実」「家庭や地域との連携・協働の充実」を重点テーマとし、課題解決に向けて取り組んでいる。
 - エ** 本市における小1プロブレムは、小学校に入るまでと入学以降ではさまざまな違いから戸惑い、適応が難しい児童が一定程度いる。また中1ギャップも同様に、中学校で初めて経験することに対する不安や戸惑いから生じる不適応や新たな人間関係などが要因となる不登校や問題行動等も起こってきている。
 - オ** 中学校区で、保育所・幼稚園・小中学校、家庭、地域が子どもたちを取り巻く課題を共有し、子どもたちの育ちを保幼小中で切り離して考えるのではなく、連続性と一貫性を持った系統的な教育を進めることが重要である。



認定こども園と小中一貫教育への取組みについて(令和6年3月議会)



問 **ア** 出雲市として認定こども園が増えるよう推進し支援すべきと考えるが所見を伺う。

イ 「義務教育学校」及び「小中一貫型小学校・中学校」が全国的に増加している。出雲市として導入を検討していくべきと考えるが所見を伺う。



※イメージです

答 **ア** 現在、出雲市教育政策審議会に諮問し審議中であるが、認定こども園へのニーズはあるということだ。答申を受けた後に、市としての方向性を考えていくが、各地域や保育団体などへの丁寧な説明や協議を行いながら、認定こども園化についての考え方について示していきたい。

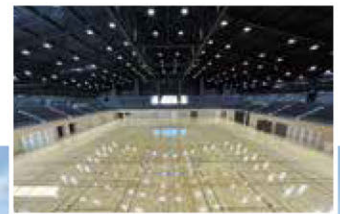
イ 本市における小中一貫教育の導入については、佐田地域からの要望を受け、佐田地域の小中一貫教育の議論も踏まえながら、義務教育9年間の系統性を持った指導のあり方や、小中一貫型小中学校や義務教育学校のメリット、デメリットなどについて、さらに研究や情報収集を行い、特色ある学校づくりに向けて、積極的に取り組んでいきたい。また、保幼小中の連携の取り組みも一層推進していく。

今回の12月と3月議会の一般質問は、0～14歳の教育問題について徹底して質問しました。他にも教員不足の問題に絡む教員の働き方改革や部活動の地域移行に伴う負担軽減など、また不登校対策やICT教育のあり方等々、取り組んでいく課題がたくさんあります。

出雲市総合体育館「出雲だんだんとまとアリーナ」 4月1日にオープンしました!



出雲市総合体育館竣工式



令和6年度 一般会計当初予算総額 897億円7,000万円

(歳入)自主財源(市税、負担金、使用料、手数料、諸収入など)	328億5,854万円
依存財源(各種交付金、地方交付税、国県支出金など)	569億1,145万円
(歳出)義務的経費(人件費、扶助費、公債費など)	420億3,549万円
投資的経費(普通建設事業債、災害復旧費など)	154億2,277万円
その他行政経費(物件費、補助費等、繰出金など)	323億1,172万円

新年度に当たり、出雲市が力を入れて取り組む事業の内容を抜粋でお知らせします。

- 一、● 集落営農組織、認定農業者等の担い手支援、産地の維持拡大等の補助
 - 地域農業の維持や将来を見据えた先進的な取組等への補助
 - 企業立地・誘致活動の積極的な展開に対する助成
- 一、● 観光誘客を推進し、交流人口・関係人口の拡大を図る事業
 - 外国人観光客の誘客を図るため、海外への「IZUMO」の情報発信や受入れ環境整備等
- 一、● 地区災害対策本部支援事業補助金等
 - 浸水被害解消に向けた対策及び調整池の適正維持管理を行う安全な住環境づくり
- 一、● 子育て家庭への児童手当の拡充(所得制限の撤廃や高校生年代への支給対象拡大等)
 - 「こども家庭センター」を新設し、母子保健と児童福祉の機能を一体的に実施し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の強化
- 一、● 市民の利便性向上に向けた窓口改革プロジェクト「書かない窓口」の検討等
 - 出雲市版デジタル地域通貨の推進事業
- 一、● 民間事業所への再生可能エネルギー設備等の導入補助
 - トキによるまちづくり事業



この議会だよりも6回目の発行となりました。一般質問については「もっと詳しく知りたい」とか「質問してもらって良かった」など、いろいろな声を聞かせて頂いています。本当に有難く感謝しております。今回は教育問題を中心に質問しましたが、その他産業振興や経済の活性化、防災、医療・福祉、芸術文化・スポーツなどさまざまな角度から質問していき、「日本一住みやすい出雲市」を目指し頑張っていきたいと思っています。一般質問とは関係なくても、いま出雲市はどのように考えているだろうかというような疑問などあれば是非お聞かせ下さい。少しでも多くの方々の声を市政に届けたいと考えていますので、お気軽にお声掛け頂ければと存じます。

発行者：出雲市議会 真誠クラブ 編集者：高橋扶治夫(ふじお)

〒693-0074 出雲市東林木町 1434-2

TEL 090-7129-1539

E-mail : fuzio0728@gmail.com

高橋ふじお 出雲

検索

高橋ふじおHP 更新中!▷

Check! /

